広報まき

1972年8月12日
第153号
発行　新潟県巻町役場
電話 代表 (2) 3131
編集　商工観光課
印刷所　北祥印刷株式会社

住民基本台帳人口
（昭和47年7月31日現在）
総人口　27,480人
男　13,363人　女　14,117人
世帯数　6,219

道路はみんなのもの
不法駐車、占用やめよう

道路守る月間中

八月は道路を守る月間です。この機会に道路の正しいあり方、使い方を考えるのも意義があると思います。

日本人は、公共物に対する愛護精神に欠けているといわれます。また、自動車の不法駐車、商店の不法占用などがあっても見て見ないふりをするのが美徳のように考える向きもあります。

この月間中に、次のようなことを改め、みんなの道路を広く美しく使用するように心掛けましょう。

一、道路をみだりに自動車、自転車・商品などの置き場作業場などに使わないようにしましょう。

二、家庭からの排水などによって道路をいためないように、また樹木などが道路に突き出しているため交通に危険をおよぼすおそれのある場合は枝を切り落してください。

三、道路の占用は、所定の手続きを経てから使用してください。

八月後半の健康相談
気軽にご利用を

八月後半の健康相談日は次のとおりです。健康について心配のある方は、町民健康相談室を気軽にご利用ください。秘密は守られ相談は無料です。

8月後半の健康相談

	期日	時間	会場	担当
成人の健康相談（血圧，検尿，その他）	17日	午後1時～午後3時	役場分室	内科医師
乳幼児および児童の健康相談	18日			小児科医師
一般健康相談（妊婦生活指導食生活指導その他）	月曜～金曜	午前9時～午後4時		保健婦 栄養士 看護婦
	土曜	午前中		

にぎわう3海水浴場
海浜はカッパ天国

モーレツな暑さをのがれ涼を求める人で，連日越後七浦海岸の浦浜，角田浜，越前浜は〝カッパ天国〟が出現。数万の人出でにぎわっています。

青い海原で泳ぐ人，海辺でサンオイルぬりこうらぼしする若い人，スイカ割りする家族連れ，思い思いに水の季節を楽しんでいます。

近年，きれいな日本海で泳ごうと群馬，埼玉，長野，東京などの県外客がめっきりふえています。短い海水浴シーズンもお盆すぎにはフィナーレ，日一日と静かな海にもどっていきます。　（写真は最高のにぎわいを見せる角田浜）

町観光写真コンクール
ふるってご応募を

町では，町内の名勝地，自然景観，行事などの観光写真コンクールを行なっています。

角田山，越後七浦海岸（角田浜，越前浜，浦浜）など自然豊かな郷土をあなたの愛機に写して応募してみませんか。

作品は①白黒写真（四ツ切り）②カラープリント（キャビネ版以上）カラースライドの二部門で昭和四十七年四月一日から昭和四十七年十二月三十一日までの間に撮影したものに限ります。巻町十区巻町役場商工観光課か各カメラ商組合加盟店に昭和四十八年一月三十一日まで送ってください。作品裏面に主題、氏名、データを記入してください。

入選者には「白黒写真」「カラー写真」とも推せん一点賞金一万円に賞品、特選二点賞金五千円に賞品、入選五点賞金千円に賞品、佳作十点に賞品を贈ります。

なお、入選作品の版権は主催者に属します。

コンクールのことでわからない点は商工観光課に問い合わせてください。

早期発見でこわくないガン
検診料、町半額補助

早くみつけて早く治療する以外にガンに対する最良の方法はありません。

次のような初期症状が起こったら，すぐ専門医師の診察を受けることが一番たいせつです。

◎胃ガン……胃のぐあいが悪く食欲がなく好みが変ったりしないか。

◎子宮ガン……おりものや不正出血はないか。

◎乳ガン……乳房の中にしこりはないか。

◎食道ガン……のみこむときにつかえたりしないか。

◎大腸ガン・直腸ガン……便に血や粘液がまじったりしないか。

◎肺ガン・喉頭ガン……セキが乾いたり，タンに血がまじったり声がかすれたりしないか。

◎舌ガン・皮膚ガン……なおりにくいかいようはないか。

◎腎臓ガン・膀胱ガン・前立線ガン……尿の出がわるかったり，血がまじったりしないか。

ガンは自覚症状のないうちにすすみ，とくに胃，子宮ガンについては年一回は必ず検診を受けましょう。

町では，胃ガンと子宮ガンの集団検診を計画しています。検診希望者は部落（区）の保健委員の方に八月二十五日まで申し込んでください。検診料は町で半額補助しますので，個人負担は胃部検診が三百円，子宮ガン検診が二百円です。

乳児検診

乳児検診が次の日程で行なわれます。対象児をお持ちの家庭は忘れずに受けさせてください。会場に母子手帳をご持参ください。

乳児検診日程表

月日	会場	対象地区	時間	対象児
8・24	峰岡中学校	峰岡地区	午後1時30分～午後2時30分	昭和46年8月～昭和47年1月生まれの乳児
25	漆山中学校	漆山地区		
28	巻町役場分室	6区以南	午後1時30分～午後3時	昭和46年8月～10月生まれの乳児
29	巻町公民館	7区以北		

炎天下消防大会に備え特訓する署員

県消防大会に備え
炎天下署員操法の特訓

八月二十日巻町の県立巻高校で開かれる新潟県消防大会に，県内百十七か町村から千人余の消防マンが参加，消防技術向上と士気の高揚をはかります。

当日，郡代表として消防署自動車ポンプ操法に出場が決まっている巻，潟東消防署の署員六人は大会にベストを尽そうと，連日焼けつくような炎天下キビキビとした動作でポンプ操法の特訓を重ねています。

町政日記

（7月分）

1日　海開き（越前浜）
3日　葬祭組合監査。農委農地部会。日本脳炎予防接種（7日まで）。乳児検診。
4日　民生委員協議会。
5日　アメシロ防除（6日まで）。
6日　成人の健康相談。
8日　教育委員会協議会。巻大祭反省会。献血車来町。
10日　スイカほ場品評会。食生活委員研修会。
11日　経済懇談会。得雲荘運営委員会。
12日　角田山開発特別委員会。妙有院供養。
13日　議会総文委員会。交通事故相談。2，3歳児検診。
14日　選挙管理委員会。総合検診。乳幼児健康相談。
15日　結核間接撮影。
17日　総合検診（21日まで）。二次検診（19，21日）。
18日　角田山向陽観音夏まつり。
19日　鐙潟境界変更特別委員会。
20日　国保運営協議会。成人の健康相談。融資委員会。
22日　農業委員会総会。海の救護所開設（23日まで）。議会厚生水道委員会。選挙管理委員会。
24日　結核間接撮影（29日まで）。総合検診（28日まで）。
25日　巻町振興協議会総会。例月出納検査。
28日　町施設めぐり。乳幼児健康相談。
31日　潟東消防分署開署式。記者会見。

赤ちゃん登場

石田　真也（しんや）

☆生年月日　四十五年十一月十二日
☆住所　松山
☆両親のなまえ　勝栄（父）、和子（母）
☆続き柄　長男
☆名づけ親　父
☆名まえの由来　真の強いかしこい人間に育つように
☆愛称　シンちゃん
☆好物　ミルク、センベイ

遠藤　美栄（みえ）

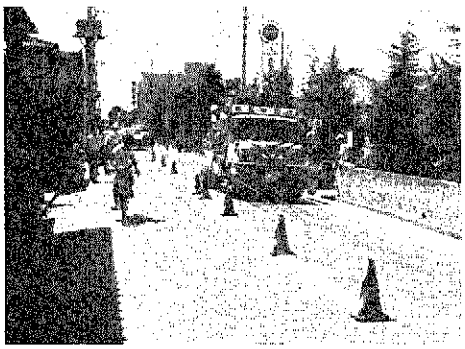
☆生年月日　四十六年八月十日
☆住所　五区
☆両親のなまえ　栄一（父）、春枝（母）
☆続き柄　二女
☆名づけ親　祖母、父
☆名まえの由来　父の一字をもらい女性らしいスマートさを強調
☆愛称　ミエちゃん
☆好物　くだもの、ジュース

係りから　この欄は一歳から二歳までの赤ちゃんを紹介します。希望者は広報係までご連絡ください。

写真ニュース

角田浜に救護所開設

町では、海水浴客から安全で楽しい海水浴を過ごしてもらうため、本年も角田浜救護所を開設、医師、看護婦、救助員が待機、けが人の治療（写真）や水死者の防止にあたっています。



町道に中央線引き事故防止

町内の交通事故防止とスムーズな車の流れをはかるため、主要町道巻―竹野町線（国道一一六号線から県道新潟・寺泊線）の二千四百㍍に、町道で初めてのセンターライン（写真）を引きました。

なお、歩行者の安全を守るため、東仲江通りの巻保育園前、高校通りの役場前と登雪橋東側の三井生命角県道五千石―巻―新潟線の巻富場山形屋さん前の四か所に横断歩道が新設されました。

農業者転職訓練生募集

技術を体得有利な職場に

新潟、上越、柏崎、三条、魚沼の各県立専修職業訓練校では、昭和四十七年度農業者転職訓練生を募集しています。

農業者転職訓練とは農業をやめ、別の新たな職業につこうと希望される皆さんがよい雇用条件で、しかも容易に職業転換ができるように、それぞれ希望する職業に必要な技術と知識を与えるための訓練です。

訓練期間六か月。入校の時期十月。入校資格は①農業以外の職業につこうとする人②現在農業に従事している人および公共職業安定所に求職申し込みをし、または公共職業訓練施設に入校申し込みをする前一年以内に農業に従事していた人③安定した職業についていない人。

実施訓練校と訓練科は新潟専修職業訓練校（板金科・溶接課・事務課）、三条専修職業訓練校（溶接科）その他五か校。

申し込みまたは、詳しいことを知りたい方は役場分室農業委員会へご照会ください。

農業の道しるべ

変わって来た農業対策

西村欣策

巻町の農家の数が、急に減ったと報告していたら、このたび県の方から調査に来た。

「こんなに農家の数の減った地帯は県内でも珍しい」というのである。

たしかに、農業施策をいろいろ変えて見ても、農家の数は減らない、といわれて来た。ところが、巻町の農家は、五年間に三百八十五戸も減り、中には百戸の農家が三十四戸も減った地域さえ出たのだから、県では驚いたのである。

これは、米価の据え置きと、生産調整という施策の中で、農業に魅力を失ったのだといってもそんな常識的な話だけでは、理解出来ないという。

それで、巻町農家の場合特徴的なのは、三反（三〇㌃）以下の農家は減らないが、三反（三〇㌃）から五反（五〇㌃）の農家が一番減っている。

全国的には、三～五反の農家が一番脅福でそれらの兼業農家が最も恵まれていると、農林省はいっている。

それで「兼業化」のよさを世の中へ発表したあとだけに関係者には「ショック」だったらしい、言って見れば、「これからの農家は、兼業が本命だ」ということを、社会の通念にしようとする向きでは、農業をやめられては困まるのである。

このたびの県の係員の言葉の中に、「チョット」そのことがうかがわれ「当惑」しているということもあったようだ。

いままでは、「農家の数が減らないと、農業施策はうまくゆかない」といって来たのに、その考え方は全く変ったのである。

農家が、農業をやめられては困るというのは、農業と出稼ぎとで生活してゆく層を確保したい、ということらしいので、大量に離農するという地帯は、どういうためなのか、原因が知りたい、と……。

何のことはない、いまの農業施策なら、大量離農なんて、当然であり、この後巻町のような現象が、ぞくぞく出て来るであろう。

あまりにも、過酷な農業施策をやり過ぎた、ということなのだ。

ここいらで、もうちょっと農業のことを真剣に考えるべきだ、ということを知らねばならない。

事業所統計調査員にご協力を

9月1日現在

調査の目的　事業所統計調査は、全国のすべての事業所を網羅し、地域別、産業別、都市計画などの資料として使用されるとともに、事業所の構造等をも調査し、事業所数、経営組織、事業の種類、従業者数などを調査して、産業構造の変化を明らかにし、今後の産業政策の基礎資料とするものです。なお、この調査の秘密は守られます。

調査の期日　昭和四十七年九月一日現在で行ないます。

調査の範囲　すべての事業所（個人経営の農林漁業を除く）について実施します。

調査の種類　甲調査、乙調査、丙調査の三種類とし、甲調査は民営のすべての事業所、乙調査はサービス業の一部の事業所、丙調査は国・地方公共団体および公共企業体の経営する事業所を調査します。

調査員　調査員の名前は次のとおりです。阿部嘉作、野口スズノ、小林作次、高杉晋弥、山下英雄、村井正由、太田道孝、川村勲、阿部昭、本間秀一、梨本昭三、星野孝、棚辺辰夫、梨本間顕伊、朝妻良夫、石川昇、河治冬樹、阿部仁、乙川靖衛、加藤よし子、鷲尾史雄、星井忠、石田富仁、伝川末吉

うぶごえ　（7月中届出）

なまえ	生年月日	保護者	住所
樹	6・18	幸吉	8区
恵也	6・18	次男	12区
茂	6・20	等	東6区
理	6・23	武伯	堀山団地
伸	6・24	隆二	2区
ひろみ	6・26	健一	7区
子	6・27	政博	東6区
敬	6・28	辰男	1区
子	6・29	英一	11区
誠	6・30	勝次	栄町
人	7・2	孝三	大竹野
子	7・3	二男	13町
敬	7・3	功夫	9区
子	7・4	英昭	堀山団地
理	7・5	昇	東6区
一	7・11	孝	8区
恵	7・7	光彦	四ツ郷屋
喜	7・9	哲雄	堀山団地
美	7・10	勇夫	東6区
謙	7・11	和弘	漆山
久	7・15	隆夫	10区
由	7・17	富	赤塚
健	7・18	進	さ
広	7・19	昭	郷
景	7・19	一	中漆
夕	7・20	作之	13区
由	7・21	正衛	漆山
真	7・23	太勝	東4区
友	7・24	貢一	稲山
朱	7・25	武郎	町区
キヨ		友栄	島
尚		剛	山
敏		一	屋
美			山
貴			区
武			山
友			町
剛			区
一			島

おくやみ　（7月中届出）

なまえ	年齢	死亡日	住所
山田七一郎	15	7・14	3区
長倉ヨキ治	89	7・16	越前
大滝留治	63	7・19	12区
大山トリマ	87	7・20	仁箇浜
大羽ライ七	93	7・20	角田浜
佐藤郎キ	52	7・22	堀山団地
近藤コ嘉	73	7・24	7区
玉木ヨ明	31	7・25	四ツ郷屋
長谷川ク	0	7・26	1区
佐藤士キ	81	7・27	10区
遠藤ネ剛	0	7・29	4区
	87	7・29	五ケ浜

―終戦の日正午―

戦没者に追悼の誠を

八月十五日は終戦の日、戦没者を出した遺族には忘れることのできない悲しい日です。この日、東京では天皇、皇后両陛下のご臨席をあおぎ、戦没者に追悼の誠を捧げるため日本武道館で遺族代表を招いて全国戦没者追悼式が行なわれます。この式典に合わせて全国の官庁、事業所などでは"平成"をかかげ、正午に全国民が職場や家庭で一分間の黙とうを捧げることになっています。

町民のみなさんも町出身の八百余の戦没者をしのんで正午のチャイムと同時に黙とうを捧げ、ごめいふくを祈ってください。

お知らせ

17日ごみ収集休みます

八月十七日（木曜日）は作業のつごうでごみ焼却場およびごみ収集を休ませていただきます。

浅草芸能団が得雲荘を慰問

八月二十八日午前十時から午後零時まで東京浅草芸能団が得雲荘に来荘、六十歳以上のおとしよりを慰問します。当日来荘のおとしよりは全員入場料無料です。なお一般の方はご遠慮ください。

歌会始のお題「子ども」

昭和四十八年歌会始のお題が「子ども」と決まりました。

詠進歌は、一人一首とし未発表の歌に限ります。期間は本年九月一日から十月十一日まで。あて先は東京都千代田区千代田一番一号宮内庁。

くわしいことは、商工観光課広報係までご照会を。

治安守る警察官募集

昭和四十八年度新潟県警察官をだいま募集中です。

◆受験資格　①年齢昭和四十八年四月一日現在で満十八歳以上二十八歳未満の男子②警察官A、大学（短期大学）または、昭和四十八年三月三十一日までに卒業見込みの者③警察官B、高等学校卒業程度の学力を有する者。

◆募集期間　昭和四十七年八月十日から九月二十五日まで。

◆試験日　昭和四十七年十月一日。

◆くわしいことは　巻警察署か派出所、駐在所に問い合わせてください。

その他　くわしいことは役場総務課行政係にお問い合わせください。

宮山清之、土田貢平

一分間健康メモ

発育ざかりは腹十分に

十代の子どもたちは、人生で最高の発育期ですから一日に四度も五度も食事をしなければ足りないほど、体の中の建築現場にあわただしく材料を要求しています。だから十代の健康な子どもたちには、食いすぎということはないのです。

この子どもたちに「腹八分目」という金言ぐらい、有害無益なものはありません。腹八分目などというのは太りすぎを戒めねばならない三十五歳以上のおとうさんやおかあさんに最適のことわざなのです。十代の子どもたちに安心して腹十分目、食べさせてやってください。夜食の安全な事もこのおわかりになったでしょう。ただし、床に入る前の二時間はさけてください。

（保険衛生課）